

富岡鐵齋(四暢図)部分 個人蔵

〔近代日本画の巨匠〕富岡鐵齋 没後100年記念

鐵齋・八一の文人世界

2024年

7月2日(火) ~ 9月23日(月)祝

新潟市會津八一記念館

開館時間 10時~18時(17時30分まで受付)

休館日 月曜日(ただし祝日の場合は翌日)

入館料 一般 500円

大学生 300円

高校生 200円

小・中学生 100円

※団体20名様以上2割引、
土日祝日は小・中学生無料

會津八一の誕生日、
8月1日は入館料無料

主催 新潟市會津八一記念館

共催 新潟日报社

後援 BSN新潟放送

協力企業

浅川園、
今成漬物店、
大阪屋、里仙、
高橋酒造



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

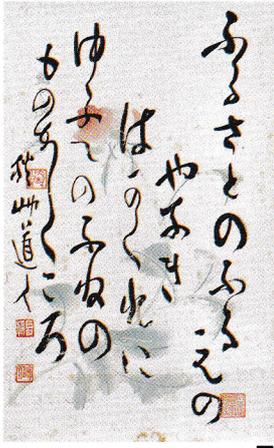


〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5F

Tel. 025-282-7612 (10:00~18:00)

入館割引券
●業務時間外に発行されます
●2割引券は1枚につき
●他の割引との併用不可
2024.9.23まで有効

道英貫心肝



鐵齋・八一の文人世界

「近代日本画の巨匠」富岡鐵齋 没後100年記念

- 1 富岡鐵齋《道幾貫心肝書》 1920(大正9)年・85歳 個人蔵
- 2 富岡鐵齋《大福神御像并神詠》 個人蔵
- 3 會津八一《林下十年夢》 1946(昭和21)年以降・65歳~75歳 新潟市會津八一記念館蔵
- 4 會津八一《風竹園 蕭颯寒雨夜》 1941(昭和16)年・60歳 新潟市會津八一記念館蔵
- 5 會津八一《ふるさとのふるさとの》 1946(昭和21)年以降・65歳~75歳 新潟市會津八一記念館蔵

2024(令和6)年は、近代日本画の巨匠富岡鐵齋(1837~1924)の没後100年にあたります。これを記念し、当館では會津八一(1881~1956)と併せ、二人の「文人世界」を企画いたしました。

長い間、「用」と「美」を兼ねる教養として人々に親しまれてきた「書」は、戦後、展覧会を主とする「造型芸術」として飛躍的に発展し、今日に至っています。

しかし、古来「書は人なり」の言葉があるように、「書」には筆者の人格が表われるとされ、書を生業としない文化人、即ち「文人」達の書はまた少し趣きの異なる美しさを持っています。

富岡鐵齋と會津八一、この二人は学芸に身を投じ、「文人」としての生涯を貫きました。本展は、掛軸や扇類・画賛・扇面など、さまざまな作品を一堂に展示いたします。個性豊かな二人の芸術家が何を考え、どう表現したのか、作品を通してその多様性を堪能いただけます。

EVENT INFORMATION 関連イベント

文芸講演会① 事前申込制
「鐵齋・八一の文人世界」
 講師 | 野中吟雪
 (新潟市會津八一記念館館長)
 日時 | 2024年8月31日(土)
 14:00~15:30
 会場 | 日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)
 聴講料 | 500円 定員 | 120名



文芸講演会② 事前申込制
「八一がみた中国古代金石」
 講師 | 横田恭三氏
 (花咲記念資料館館長、跡見学園女子大学文学部教授)
 日時 | 2024年9月8日(日)
 14:00~15:30
 会場 | 日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)
 聴講料 | 500円 定員 | 120名



野中吟雪館長による作品解説会
 日時 | 7/21(日)、28(日)、8/11(日)、25(日)、9/8(日)、22(日)
 11:00~約50分
 会場 | 当館展示室
 (申込不要/要当日観覧券)

お申し込み方法

※イベント1、2の聴講、参加をご希望される方は、専用申込フォームか往復はがきのいずれかでお申し込みください。往復はがきの場合、参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください(ただし1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします)。定員に達し次第締め切ります。



専用申込フォームはこちら



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
 TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614 / MAIL: info@aizuyaichi.or.jp
 当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)
 ◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分
 ◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業)第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)
 ※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

